

KEYAK!

9月号

今年の夏の暑さは忘れないのではないのでしょうか。この暑さが年々更新されるようではかなり困りますね。子どもたちもどんな風に過ごしていたのか早く聞いてみたいものです。

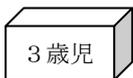
2学期に入り、すぐやってくるのがけやきまつりです。夏休み前の話になりますが、けやきまつりを行うにあたり役員の方たちにお手伝いをしてもらうアイデアを沢山出してくださいました。今まで3年間、役員さんで何かを決めるといった事柄を無くしてしまっていた分、話し合いの場では一抹の不安を感じていたのですが、しょっぱなからそんな思いは吹き飛びました。役員のみなさんととても積極的で、進行から意見交換までどんどんワイワイ進んでいきます。むしろコロナ以前の役員さんたちの時より勢いがあるように感じました。

幼稚園に「復活ののろし」があがったようでとても嬉しく感じました。こちらからは園の方向性や予算的な部分のお話はしましたが、途中からそんなことより盛り上がるほう優先だ！という気持ちにさせてもらいました。園のことも考慮していただきながら、子どもたちのためになにかしたい！という思いが皆様の中からひしひしと伝わってくるからこそ、「えーい、すきにやっちゃってください！」と思えるのでしょうか。これからの園の未来が伺えるような、すてきな一幕でありました。おまつりのみならず、これから保護者の皆様方の参加協力は沢山出てきます。この調子で、何卒よろしくお願い致します。

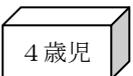
余談ではありますが、お盆中の親戚等への挨拶回りの話の中でご先祖さま、おじいちゃんおばあちゃんたちがよく言っていた言葉が会話の中で出てきたりしました。その中で今は言わなくなって聞かなくなって忘れてしまって、けど記憶がよみがえってくる言葉に出会いました。『ちゃんとおてんとうさんがみてる・・・』（意味わかります？）

見られてるからやる、誰も見てないからやらない、そういうことじゃない。良い行いも悪い行いもちゃんと思われてるし、すぐじゃなくても、誰かにちゃんと評価される日があるんだよ。偉人の言葉も良いですが、身近な先人のひと言、もっと思い出したい。

今月のねらい（育てほしい姿や経験してほしいこと）



- ・自分の好きな場所や遊びを通して、保育者や友達とかかわる中で、園生活のリズムを取り戻し、期待をもって登園する
- ・走ったり、跳んだり、転がったり、踊ったりして、思いきり全身を動かして遊ぶ心地よさや、リズムに合わせて表現する楽しさを味わう



- ・クラス全体でまとまってすると楽しい遊びや活動を経験し、実感する
- ・友達とやりとりをしながら、遊びや活動と一緒に進めたり、いろいろな運動あそびを試したり、挑戦したりすることを楽しむ
- ・年長の競技などを見て、自分たちもいずれ・・・と憧れをもてるように



- ・ルールを確認しながら、自分たちで遊べる
- ・友達とともに運動会に向けて取り組みながら、励ましや協力しあう関係をつくる